

町政執行方針



町長 向山 富夫

り5千億円増額し、17兆4千億円となるなど、地方の一般財源総額については昨年度の水準が確保されました。

しかしながら、「財政運営戦略」においては今後3年間、地方の安定的な財政運営に必要となる地方の一般財源総額を確保することを基本としております

が、社会保障費などの自然増については、構造的に他の経費を削減することで賄わなければならない、加えて、地方税収も大きな増収は望めないことから、地方財政の厳しさは依然続いて行く状況と判断せざるを得ません。

当 町においても厳しい経済状況の影響を受け、さらに昨年の農業被害などにより町税収入の減収が見込まれる中ではあります。国の22年度補正予算や本年度の地方交付税の増額確保など、切れ目のない国の財政出動を財源として、地域経済や雇用の回復につながるよう、建設事業の前倒し実施をはじめ、緊急的な雇用対策や福祉施策の充実に努めてまいりました。

しかしながら、当町の財政は、多くが国などからの依存財源が占める財政構造にあること

から、その動向によっては大きく影響を受ける実態にあります。今後も国の財政動向を見極め、町の将来に禍根を残すことのないよう引き続き収支均衡のとれた健全な財政運営を旨とし、町政を取り進めてまいります。

また、「第5次総合計画」、「自治基本条例」の精神である「協働」を町民の皆様との共有のキーワードとした「まちづくり」に向けて、町内の様々な主体の活力が協働によりますます発揮されるよう、改めて町が果たすべき役割をしっかりと認識し全力を傾け、実効が現れるよう取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

わが国経済

は、リーマンショック後の

危機的な状況から着実に持ち直しつつあるものの、先進国の危機的財政状況や、新興国間とのギャップは拡大しており、また、失業率が若年層を中心に依然として高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい状況にあります。加えて、デフレ基調が続いており、円高や原油価格、穀物価格の高騰によ

る世界経済の動向など、景気の下振れリスクについても注視していく必要があります。

この様な客観状況の中で、本年度の政府予算案は「中期財政フレーム」に基づき財政規律を堅持するとともに、成長と雇用や国民の生活を重視し、一般会計総額が、過去最大の92兆4千億円となっています。

しかし、その財政構造は、税収が41兆円であるのに対して、

国債が44兆3千億円となっており、2年連続して国債が税収を上回る構造となっています。さらに財源不足額7兆円を税外収入に依存するなど財政構造上の課題も残っており、「財政運営戦略」の着実な実行と財政健全化にあわせて早急に税政と社会保障制度の一体改革について、速やかに方向性を示すことが求められております。

一方、地方財政政策においては、「地域主権改革」に沿った財源の充実を図るため、地方交付税においては、地方が地域活性化・雇用・子育て施策などに継続して取り組むことができるよう、昨年度創設された特別枠における子育て支援サービス充実事業、住民生活に光をそそぐ事業、地球温暖化対策暫定事業などの経費を上乘せした「地域活性化・雇用対策費」1兆2千億円を新たに計上することにより、地方交付税総額で昨年度よ

平成23年度知っておきたいことしの1つと

平成23年度町の予算は、別冊「平成23年度版知っておきたいことしの1つと」をご覧ください。

教育行政執行方針

地デジ化

をはじめ情報機器などの進化はめざましく、利便性の追求は益々加速していく傾向がみられています。

しかし、不況の出口はなかなか見えず、教育においても学力の低下、いじめや虐待などの課題が継続しています。このように流動的で不安定な現状の中、正しく状況を認識し、的確な判断に基づき、効果的に対応する

行動力を持った人材が求められており、その育成が教育の最重要課題ともなっています。

このことから、当町の学校教育においては、今年度からの小学校新学習指導要領の完全実施にあわせて、確かな学力の向上、「豊かな心の育成」たたくましい体づくり」のさらなる向上をめざした取組みを推進してまいります。

「確かな学力の向上」について

は、各学校の学力向上プランを中心にしながら、基礎基本の定着と「活用力」の向上を図ってまいります。

「豊かな心の育成」については、体験学習を重視しながら、道徳の時間や特別活動・総合的な学習の時間などを活用し、規範意識や思いやる心を育ててまいります。

「たくましい体づくり」については、基本的な生活習慣の指導、食育や保健指導と体力向上のさらなる充実を図り、健康でたくましい体づくりに努めてまいります。

教育環境整備

については、上富良野小学校校舎の改築基本設計や上富良野西小学校体育館の耐震改修実施設計などを行い、安全で機能的な学習環境づくりに努めてまいります。

また、上富良野高校の振興については、学力の向上や部活



教育長 北川雅一

動・進路対策に向けて新たな手だてを模索しながら、さらなる発展を支援してまいります。

社会教育においては、多彩な文化・スポーツ活動を媒介に、町民ひとりひとりが生涯にわたって学べる場の提供に努めてまいります。

家庭教育学級や子育てサークルなどをおとした家庭の教育力の向上、放課後プランやなかよしサミットなどをおとした青少年教育、いしずえ大学や女性学級での成人・高齢者の学習活動、図書館・郷土館の事業や総合文化祭などによる文化芸術の振興、野球場など運動施設の改修とそれらを活用したスポーツの振興・充実を図ってまいります。

この理念をもとに、町民の皆様が各世代に心じて生き生きと



した生活の営みを続けていけるよう、一層の努力を進めてまいります。

